

消防団の
最高栄誉

川島町消防団 特別表彰

「まとい」を受章



受章祝賀会 ▶

令和8年3月、第78回
日本消防協会定例表彰式で、
川島町消防団が、特別表彰
「まとい」を受章しました。

特別表彰「まとい」とは、日本
消防協会が消防団の最高栄誉とし
て、毎年全国の約2,200の消
防団の中から特に優れた活動をし
た10団体にのみ授与する最高位の
表彰です。江戸時代の町火消しの
象徴である「纏まとい」に由来し、長年
の模範的な活動と規律・技能の高
さが評価された消防団に贈られま
す。

埼玉県には、令和8年4月1日
時点で64の消防団がありますが、
川島町消防団の授与は、県内で11
番目となります。

町火消しの象徴 「まとい」とは

「纏まとい」は古くから仲間の士気を高めるための象
徴として活用されました。もともとは武士の戦場
で勇戦の旗印として使われていましたが、江戸時
代に現在のような形が定着しました。

「まとい」の下部には「馬簾ばれん」と呼ばれる飾り
があります。この部分は災いを祓い清め、身を守
る力があるとされています。そして上部の「石突
き」と呼ばれる部分には人生の土台を象徴する意
味が込められており、幸運を呼び込むとされます。

江戸時代の火消しにとって、「まとい」は仲間
の象徴であり、心をひとつにする旗印でした。火
事場で火消し達は「まとい」を中心に結束を固め、
現場の士気を高めました。

◀ 川島町消防団に贈られた「まとい」

「まとい」は役場1階に展示しています。
ぜひご覧ください。



川島町消防団の活動

消防団員は、年間を通じて自身の仕事
などと両立しながら活動しています。火災
時の消火活動、水害時の町内巡視や土の
う積みなどを行うほか、各種研修や防災
訓練への参加などの活動を行っています。
活動にご興味のある方は、川越地区消
防局総務課へお問合せください。

☎049-222-0741



▲ 出初式（令和8年1月の様子）

川島町消防団のあゆみ

明治27年2月	消防組創設（中山村・伊草村・三保谷村・出丸村・八ツ保村・小見野村の六ヶ村）
昭和14年1月	警防団令施行により警防団となる
昭和22年4月	終戦後の制度改革の中で消防団となる
昭和29年11月	六ヶ村の合併により川島村消防団となる
昭和46年2月	日本消防協会表彰『日消表彰旗』を受章
昭和47年11月	町制施行により川島町消防団となる
昭和63年3月	消防庁長官表彰『竿頭 <small>かんとうじゆ</small> 綬』を受章
平成3年2月	日本消防協会表彰『竿頭 <small>かんとうじゆ</small> 綬』を受章
平成11年3月	消防庁長官表彰『長官表彰旗』を受章
平成26年11月	第24回全国消防操法大会に川島町消防団第五分団が出場し、敢闘賞を受賞



前川島町消防団長
菅岡 稔さん

「まとい」の受章は、川島町消防団にとってこの上ない栄誉です。この
栄誉は、歴代の団長、諸先輩方が長年にわたり築いてこられた功績の積み
重ね、そして現在、第一線で活動する団員一人ひとりの献身的な努力の結
晶です。

近年は、自然災害の激甚化や地域社会の変化により、消防団に求められる
役割も多様化しております。今回の受章をゴールとすることなく、新た
な責任と自覚を胸に、より一層訓練に励み、地域防災力の向上に努めてま
いります。



川島町長
藤間 隆

川島町消防団の皆様、特別表彰「まとい」の受章、誠におめでとうございます。

今回、川島町消防団が特別表彰「まとい」を頂けたのは、日頃から町民
の安全・安心のため、長年にわたり献身的で地道な活動をしてきたことが
評価されたものだと思います。町としても大変名誉なことでもあります。

この「まとい」の受章を契機に、川島町消防団の活動が益々活性化し、
その熱意が町全体に広がるよう、引き続き消防団の活動を支援してまいり
ます。

「まとい」受章へのコメント